

平成28年度 学校関係者評価委員会報告書

学校法人浪越学園
日本指圧専門学校
学校関係者評価委員会

日本指圧専門学校・学校関係者評価委員会は「平成28年度日本指圧専門学校の自己評価」
に対して下記の通り学校関係者評価を実施したのでご報告いたします。

平成28年度 学校関係者評価委員会（平成29年3月27日開催）

1. 出席学校関係者評価委員
鈴木啓太（ウェブデザイナー、指圧業）
中野善光（指圧治療院院長）
立部正則（日本指圧協会会員、指圧業）
田中功（出張指圧経営）
2. 欠席学校関係者評価委員
小野悠一（指圧治療院院長）
田中恵一（飲食業大黒屋経営）
3. 出席教職員
黒沢純一、高橋雄輔、金子泰隆、渡邊和雄
4. 出席事務員
浪越雄二、岡村文夫
5. 平成28年度自己評価に対する学校関係者評価

自己評価内容について、順次出席者から評価、意見等が出された。

◎学校からの報告

2017年4月より日本大学と正式に提携。

本年土中もトレーナー活動として陸上部に帯同。

学生トレーナー部員と教員とでインカレ、合宿に参加し活動している。

日本大学内に指圧ルームを設置していただくことになった。

御茶ノ水女子大の学園祭にてボランティア指圧を実施。

今年は卒業生にも声をかけ、合同で参加。

在校生30名、卒業生20名でのべ700名以上の指圧をすることができた。

引き続き合同して活動できる行事にしたい。

KTC中央学院という通信制の学校の学生に指圧を知ってもらおう活動。3回ほど行った。

専門学校への進学を考えている方に指圧学校も選択肢に入れてもらうべく参加している。
来年度1名の入学があった。来年度は18回の授業を検討している。

◎学校関係者評価委員からの質問

御茶ノ水の学園祭の話は足りないからいかがですかというより、前もって声をかけて
いただくと参加しやすいのですが。

(回答) 承知しました。

国際交流についてはいかがですか

(回答) 昨年、教員3名が参加してメキシコで世界大会に参加した。

バンクーバーの指圧カレッジに講師として参加。

今年のハワイ研修は40名参加して行われました。けが人がなくいい雰囲気で行えました。

ヨーロッパの小野田先生のお弟子さんたち。皆さんレベルが高くていい交流ができた。

ダニエル先生の紹介でヨーロッパで理学療法士の免許をお持ちの方が来て研修した。

ヨーロッパでは増永先生の流派が多い。浪越指圧の更なる普及を期待したい。

学生募集の件

(回答) インターネットでの広告。興味のある方に積極的にアピールしている。今後、
スポーツジャンルからの広告を行う予定。

マイナビ進学フェスタは全国で高校生を呼んで専門学校などへの進学希望者へ
本校の案内をする予定。

雑誌への広告、医道の日本には以前より行っていたが、資格者が読む本であったので、
療術関係の本、セラピストに広告を打った。

マイナビ、ベスト進学、リクルートなど、進学サイトの会社に乗せている。。

会社説明会。年に1回から2回に増やして行っている。7月、12月。2割程度は
この中の会社から決めており一定の成果を上げている。

学生募集に力を入れていく必要を感じる。

成果は見られるのか。

(回答) 高校生の受験が減っていることと、夜の受験生の減少が著しい。

国家試験はどうか。

(回答) 1名不合格で99%の合格率。他校に比べて高い合格率を維持している。

就職はいかがか。

(回答) マッチングの問題はあるが、就職実績自体は90%以上。

定着率はいかがか。機能訓練や介護の情報を3年生にすこしでも紹介できると良いと思う。

(回答) 3~5年やると自立してやっていけるスキルが身につくので良いが、

一定の割合ですぐにやめてしまう学生がいるのも事実。つまりくのは
人間関係が多い。

自己評価の評価が低かった点について。

教育理念、目標について、定員割れしている現在、何をアピールして集めていくか、将来どういう卒業生を出したいか考える。将来にわたって学生を集めやすくする理念を考える必要がある。

具体的にどういう学生が集まってくるのか。

(回答) トレーナーに興味を持っている学生が多いらしい。資格が取れないトレーナー学校に流れていくのを少し減らしたい。しかし、トレーナーとしてやっていく道は狭くて以前は十分な教育はできなかった。現状では、スポーツ領域ではだいぶ解消できていると思う。就職までつなげていく活動が今後の課題。
スポーツクラブ、トレーナーという無資格の人がやっているあたりで有資格者を増やしたい。

指圧で治療ができるというのが最大の魅力。それは無視してはいけない。

(回答) 基本は基本。実践的でない。

2年くらいのインターン制度はどうか。卒業してすぐでは何をどうやっていいのかわからない。外に出るタイプはいいが、そうでない人は困る場合がある。

(回答) 卒後のインターンシップは難しい。
平成 30 年からカリキュラム編成。臨床実習を 1 単位から 4 単位へ増やす。
これから運営を考えていく。いい方向へ進ませたい。

国家試験を取って賃金これだけって、なるのではないか。

免許取った割にはね。国も考えてもらいたい。

(回答) 国家資格のあり方というところは学校より業団体が重要。

就職課はないのか。卒業して指圧はうまくても治療できない。

(回答) 場数踏む必要があります。

数やらないとだめだ。

(回答) 平成 30 年に向けてカリキュラム変更でより実務レベルに近いところに向けて指導したい。

学校運営について。

(回答) 平成 28 年 9 月 29 日の厚労省の指導調査の結果、概ね適正な運営が行われているので、今後とも適正な運営に努めるようとの回答を得た。

明文化したものがあればそれで問題ないのではないか。

教育活動として老人ホームへの実習など増やせないか。非常に勉強になった。

現場の人に学校に来てもらってロールプレイで補っていくのがよいのではないか。

(回答) 外の人を呼ぶと単位認定が難しかった。平成 30 年度から少し期待している。
今のところは活躍する卒業生などを授業に招いてお話いただくなどが、良いのでは。

同窓会や指圧協会ともコラボすると学生さんへの実技教育が充実するのでは。

時間がかかるので長期戦で。学生さんも目先のことより長期的展望で考えるよう指導してほしい。

一つの技術でやっていくのに10年！

(回答) 実際に現場に出て優秀なのは数十人。

地域貢献についてはどうか。

(回答) 礪川マラソン大会や臨床実習でのご近所さんに患者として来ていただくなど交流しています。

学習成果、卒後の活動はどうか。

(回答) 担任制でやっているのもあり結構把握しているほうだと思う。卒後1年くらいまでの数字は把握できている。

卒業生の活動開業をもっと在校生にアピールしてもいい。

何期の先生があそこで開業したとか。

生徒にも社会にもアピールする。

学生支援はどうか。

(回答) 個別に相談に来る学生には相談に応じているが、全体としては難しいところがある。

卒業後に卒業生への就職支援はあってもよい。

(回答) 卒業生も見にきてますよ。

社会貢献について。

(回答) レキセンマラソンなどで社会貢献。